

平成23年度 第1回中津川市環境保全審議会議事録

日 時 平成23年12月7日(水) 13時30分～15時10分
場 所 健康福祉会館3階医師待機室
出席委員 饗庭俊二委員、浅野純二委員、大前勝行委員、瀬瀬登美子委員、
嶋崎尚己委員、富田進委員、堀田時夫委員、和田久司委員、
事 務 局 志津弘美生活環境部長、吉村靖和環境政策課長
渡辺卓リニア推進課長、草野順樹環境政策課主任主査
佐々木和則環境政策課主任(書記)

1. 開会

- ・志津生活環境部長のあいさつ
- ・吉村環境政策課長より審議会委員委嘱、任期について説明

2. 会長、副会長の選出

- ・会長に富田進委員、副会長に大前勝行委員を選出、決定

3. 会長あいさつ

- ・富田会長あいさつ

4. 議題

【報告事項】

①リニア中央新幹線計画の今後の動向と取組みについて

[渡辺リニア推進課長から資料に基づき説明]

和田委員 歴史の中でも非常に重要なプロジェクトであり日本が変わっていく。子供のころ新幹線の開業があったが開業前と開業後ではどんどん国が変わっていった。いくつかの課題、ハードルがあることと思うが将来のために確実な実現を思う。

瀬瀬委員 中津川市は地震の強化地域であるが大丈夫か。

渡辺課長 この辺りの地域には、大きな断層としては、屏風山断層、阿寺断層の二つが

ある。屏風山断層については、並行して走るような形になるため距離を離すルート取りである。阿寺断層については、短距離で直角に入りすぐに抜けるイメージである。J R 東海は地震については十分な対応をとるとしており、国の交通政策審議会でも十分審議された。

嶋崎委員 残土処理についての方針はどうか。

渡辺課長 リニア新幹線の全長 8 割程度がトンネルとなりかなりの距離になる。何百万 m³の残土がでる。J R 東海からはまだ具体的な話は何もないが、いろいろなところへ土砂を運ぶことは影響がしやすいのでなるべく避け、まとまった箇所処理するなどなるべく地域へ影響の出ない形でやっていただきたいと考えている。土地の有効活用の面では中津川市での有効な利用方法を協議していきたい。

饗庭委員 トンネルがほとんどということであるが、地下水の水源が変わることで農業ほか生活への影響はどうであるか。

渡辺課長 トンネルの工法として対応した工法をとっていくとしている。市としても、飲み水だけでなく農業用水等生活に必要な水全般に影響が出ないよう調査をしてほしいと J R 東海に求めている。

【審議事項】

②リニア中央新幹線環境影響評価方法書に対する意見（案）について

〔 草野主任主査から資料に基づき説明 〕

大前委員 地上を通る時の騒音が一番心配であるがどうであるか。

草野主任主査 騒音について J R の想定は、70 デシベル程度とのことであり、中津川市で騒音測定をおこなっている地点では、落合の 19 号沿いで測定されているものと同程度である。

堀田委員 工事が始まると、かなりの工事車両がはしることとなると思われる。生活への影響など考えてルートなど示してほしい。

渡辺課長 学校や住宅地のそばを走らない、または台数制限など具体的になってきた段階でしっかりしていきたい。

志津部長 中央道の建設時もそうであったが、地元との協定を結ぶことなども必要になってくることを考えている。

饗庭委員 山梨県都留市に実験線があるが、近隣の住民からの意見など情報を市民へ提供してほしい。

渡辺課長 実験線の付近では、高架の 30m 下には民家があり際まで住宅地ができています。話をきくと、トンネルの通過の際に出る音、いわゆる「トンネルドーン」などにより実験を中止したことなどの経緯もあった。水については、沢がひとつ枯れて未だに給水車が出ているところもある。また、技術の向上もかなり進んでいるので 16 年後という時間でさらなる技術の向上も期待しているところである。

J R 東海からの話を一方的に聞くというわけではなく、市からも意見を言っていくという立場で今後対応していきたい。

額瀨委員 東京まで 50 分となるが、中津川名古屋間は 30 分に電車が 1 本ではなく、15 分に 1 本など早期の対応をお願いしたい。

渡辺課長 500 キロで東京からきて、うまく連絡する電車が来なくて中津川駅への移動が 30 分もかかるようなことは困る。リニアの駅はターミナル機能を果たし、快速電車はもとより特急の停車や、中津川以東のダイヤ強化を求めていくことが大切です。

5. その他

- ・草野主任主査より第 2 回開催について説明

6. 閉会

- ・富田会長より閉会のあいさつ

[閉 会]